

会長就任挨拶

一般社団法人 土地改良建設協会 会長 蓮輪 賢治



このたび6月22日の総会におきまして土地改良建設協会の会長に選任されました蓮輪賢治でございます。

当協会は、昭和43年に設立されて以来、土地改良工事の円滑な遂行を通じて、地域社会の発展に寄与すべく、諸活動を積み重ねてまいりました。押味前会長をはじめ、今日まで協会活動を支えてこられた先達のご尽力に深く敬意を表しますとともに、関係各位のご支援、ご協力に対し、心より感謝申し上げます。微力ではございますが、協会の更なる発展に向けて全力を尽くしてまいり所存でございますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、「土地改良」は、ご承知のとおり、農業生産基盤の整備や農村の生活環境の改善等を通じて、人々の「食」と「暮らし」を支え、地域の防災・減災にも大きく貢献してまいりました。

近年においては、米価の急激な変動や国際情勢の不安定化などを背景として、食料安全保障に対する国民的関心が一層高まっております。また、気候変動等により災害が激甚化・頻発化する中、強靱で持続可能な地域づくりの重要性も増しております。

こうした状況を踏まえ、政府においては、「食料・農業・農村基本計画」や新たな「土地改良長期計画」の下、集中的な農業構造転換対策、農業水利施設の戦略的保管理、スマート農業に対応した基盤整備などが進められております。また、防災・減災、国土強靱化の取組についても、「第1次国土強靱化実施中期計画」に基づき、農村地域の豪雨対策や地震対策等が計画的に推進されているところであります。

人口減少や担い手不足など、社会構造が大きく変容する今日にあって、これらの施策を着実に推進することが、農業・農村の振興のみならず、国土の有効利用・保全、ひいては我が国の持続的発展にとって極めて重要であります。「水と土」の未来を支える土地改良に携わる建設企業への期待と役割は、今後益々大きなものになると考えております。

当協会ではこれまで、発注者の皆様と連携しながら、「品確法」の理念に則り、施工効率の向上、技術者の育成、働き方改革の推進などに取り組んでまいりました。特に、施工現場や入札契約制度の運用過程において生じる様々な課題については、農政局長をはじめ発注機関の皆様と率直な意見交換を重ねながら、その解決に努めてまいったところであります。

今後も、現場で生じる諸課題に対し、発注者・受注者が十分に意思疎通を図り、相互の信頼関係の下で協働して解決策を見いだしていく、その不断の積み重ねこそが、生産性や技術力の向上、さらには地域に信頼される建設産業の発展につながるものと確信いたしております。また、建設産業全体としても、DX・GXの推進や働き方改革など時代の要請に的確に対応しつつ、人材が誇りと展望を持って活躍できる環境を醸成し、持続的成長力を備える魅力ある産業を築いていかなければなりません。

私ども協会といたしましても、活動の一層の充実・発展に努め、土地改良事業を支える協会としての使命と責務を果たしてまいり所存でありますので、各位のご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。